学校安全計画

安全目標　１．安心・安全な環境の下、子どもの心身ともに健やかな成長を支援する。
　　２．職員の心身の健康の保持増進を図る。
　　３．保護者が子どもの発達段階を理解し、日常生活の安全に活用できるようにする。

福山あゆみこども園

2026年度		４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
安全関係行事・訓練	園児	入園進級式	避難練習 こどもの日の行事 運動会予行練習	避難練習 運動会・水遊び 沐浴ﾌﾟｰﾙ開き ﾏｽｸﾌﾟﾚｲﾐｭｰｼﾞｶﾙ	避難練習 安全教室	避難練習 お楽しみ会 （５歳児）	避難練習 敬老プレゼント の投函	消防署 合同避難練習 秋まつり	避難練習 発表会ﾘﾊｰｻﾙ 親子遠足(5 歳児)	避難練習	避難練習 とんど	避難練習 節分 交通安全教室 参観日懇談	避難練習 お別れ遠足
		蔵王スイミングスクールに参加 →											
	職員	自衛消防隊編成 消火訓練 自衛防犯隊編成	避難練習（本館出火）消火訓練 救命救急研修	避難練習 （幼児棟出火） 消火訓練	避難練習 （地震・出火） 消火訓練 安全教室	避難練習 （本館出火・第１⇒第２避難場所に） 消火訓練	避難練習 消火訓練	消防署 合同避難練習 消火訓練	広島県 一斉防災訓練 消火訓練	避難練習 通報訓練 消火訓練	避難練習 消火訓練	避難練習 消火訓練 交通安全教室	避難練習 消火訓練
安全管理		**事故や傷病の発生を未然に防ぐため、リスクマネジメント、日々の安全点検を実施し、園全体で情報を共有し、安全対策に取り組んでいく。** 事故防止の取り組み・・・睡眠中のチェック、プール活動の事故防止の徹底、食事中の誤飲事故防止の徹底、アレルギー食の誤配、誤食防止の徹底　ヒヤリハット情報の共有・対策　等 事故やケガなどの緊急時の対応について園内で確認する。 救急用品の点検、室内備品や玩具、園庭の固定遊具、体育用具の安全点検及び園庭整備 事故報告書、ヒヤリハットによる結果をもとに、保育の安全確保につなげていく　低年齢児・・・棚、柱のカバー確認、設置 敷地内ヒヤリハットマップ・園外保育・散歩コースと危険個所マップ見直し										
重点点検箇所		青葉台第２公園　・芋畑　・プール 簡易テント　・遮熱シート（すべり台等）		簡易テント・ミスト・ミスト扇風機・遮光ネット ９月消防設備、セコム 110 番通報システム点検		青葉台第２公園　・避難道、避難場所の点検 芋畑と芋畑までのコース点検			園内、園庭の危険個所再点検　３月消防設備点検 遠足の下見、コースの確認				
職員マニュアル重点周知		リスクマネジメント、取り組みの体制 不審者対応と事件発生時の対策・非常通報装置システム 火災、災害時における対応・事故防止について		熱中症アラート発表時の対応・熱中症対応マニュアル ６月水遊び・プール活動のマニュアル（水質・温度・監視） 事故発生時の対応・感染症発症時における対応		救急対応（心肺蘇生法、AED の使用）マニュアル 乳幼児突然死症候群（SIDS）睡眠時の観察			リスクが高い局面や緊急時の行動マニュアルを見直しし、職員間に共有する		
安全教育の視点	生活安全	・遊具、固定遊具の使い方 ・必要な道具や用具の使い方（いす、はさみ、箸等） ・安全な階段の登り、降りの仕方 ・小動物や虫とのかかわり方、世話の仕方 ・危険な虫の確認 ハチ、毛虫、セアカゴケグモ、ヒアリ　等 ・困ったときの対応の仕方 ・集団で行動するときの約束、友だちとの歩行 ・雨の日の歩行、雨具の扱い方 ・門の開け閉めは大人がする、子どもは飛び出さない		・黒球式熱中症指数計 ・プール、水遊びのきまりや約束 準備体操、プールでの約束 ・熱中症対策　帽子をかぶる、炎天下で長時間遊ばない、日陰で遊ぶ、水分補給をする、など ・降園後の夏の生活の安全で楽しい過ごし方 「いかのおすし」の約束、外出時の約束		・様々な遊具の安全な使い方、遊び方、片付け方 とび箱、鉄棒、和太鼓、うんてい、ブランコ等 ・なわとびのなわの扱い 後に使う人の安全を考えた片付け方 ・集団で行動するときの約束 保育教諭等の指示を聞く			・冬の健康な遊び方、安全な行動の仕方 ・様々な遊具や用具の安全な使い方、片付け方 ・園生活に必要な約束やきまりを自分から気付き、守る ・火の恐ろしさ		
	交通安全	・登降園時の約束（道路は大人と手をつないで歩く） ・靴を正しく履く ・道路の歩き方、渡り方 ・車が来たら、道路の端に止まる		・交通安全に関する約束 飛び出ししない 道の端を歩く ふざけながら歩かない		・自分の耳と目で確かめる習慣 ・小学校との連携 ５歳児：小学校見学により付近の通学路の危険な場所、安全な歩行の仕方			・交通安全教室 信号の正しい見方 点滅しているときの判断の仕方 横断歩道の渡り方 ・交通機関の利用の仕方　路線バス 公共の乗り物や場所でのマナー、約束		
	災害安全	・避難(防犯)練習の意味や必要性 避難の仕方、約束 避難練習の合図（非常ベル、放送等）、避難経路を知り、避難場所を知る 「おはしも」の約束 ・災害時等、家庭や地域において、保護者や大人の指示に従う大切さ		・地震時の対応 姿勢を低くして、頭を守る 机の下に入る 防災頭巾のかぶり方 ・火災時の対応 靴を履き替えない ハンカチを鼻、口に当てて避難 ・オキシダント発生時の注意事項		・避難場所（青葉台公園） ★一斉防災訓練時に、青葉台公園に避難 所要時間の確認、道路の確認、危険箇所の確認等 ・避難場所（鳳中学校） ★リハーサル時に、歩いて行くのを利用して 所要時間の確認、道路の確認、危険箇所の確認等			・とんど時の留意事項 火に近づかない 風下に行かない、煙を吸わないよう移動する		

2026年度		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
安全教育	ねらい	【健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う】 （1） 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう （2） 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする （3） 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する											
	活動内容	・ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞﾛｰｽﾞに観劇に行く ・幼児棟⇔本館の移動 ・散歩を楽しむ → 雨の散歩 ・蔵王ｽｷｰｽｸｰﾙに参加する →			・プール、水遊び ・幼児安全教育（３－５歳児） ・地震、火災避難練習 ・５歳児花火　クッキング		・５歳児、郵便局に投函に行く	・消防署合同避難練習に参加する ・地震防災訓練に参加する ・東部市民センターに歩いて行く ・散歩を楽しむ → ・坪生小学校連携行事に参加する		・とんどの行事に参加する ・交通安全教室（２-５歳児） ・お別れ遠足（５歳児） →		
	３歳児	・生活の仕方や新しい保育室での過ごし方を知り保育教諭と一緒にしようとする。 ・いろいろな遊具や用具の遊び方や使い方を知り危険なあそび(こと)を知る ・道路の歩き方の約束事がわかり、意識して歩く。 ・室内や廊下では走らないことを			・プール、水遊びの約束を知り守ってあそぶ。 ・プールの前には、準備体操をする。 ・安全教室に参加し、いかのおすしを知る			・交通ルールを守りながら歩けるようにする。 ・雨具（傘）を使い始める。 ・合同避難練習に参加し、消防士さんの話を聞く。火の恐ろしさ、火遊びをしてはいけないことを知る。　・シューズを履いて過ごす ・雨の日の歩行や傘の使い方を知り、保育教諭に見守られながら移動する			・強い風や雪、凍結時などの冬の危険を知る。 ・寒さから身体が思うように動かなくなるので、気をつけてあそぶ。		
	４歳児	・遊具を危険のないよう上手に使ってあそぶ。 ・道路でのきまりを守って歩く。 ・避難練習の意味を知り、約束を守って行動する。 ・シューズを履いて過ごす シューズを履く必要性を知り習慣付ける ・椅子を机の中に入れる			・プール遊びの約束を知り、守る。 ・危険な場所を知り、危険な場所では遊ばない。 ・約束を守って避難練習をする。 ・雨具の扱い方や始末の仕方を知る ・安全教室に参加し、身を守る方法を知る ・自分の体調をことばで伝える			・合同避難練習に参加し、消防士さんの話を聞く。火事の恐ろしさや、火遊びをしてはいけないことを知り守る。 避難の際の約束事を知る。 ・危険なあそびや場所がわかり、約束を守ってあそぶ園庭でのルールの確認をし、守ってあそぶ			・強い風や雪、凍結時などの冬の危険を知り、安全に気を付ける。		
	５歳児	・遊具、用具に親しみ、安全に気を付け、大切に扱うようにする。 ・避難練習の指示に従い、速やかに行動する。 ・道路を渡る際には、車が来ていないかを自分で確認する。 ・保育室、テラスを走ると危険だということに気付き、自分で気をつける。 ・シューズを履いて過ごす シューズを履く必要性を知り習慣付ける			・プールや水遊びのルールを守り、友達と一緒に夏の遊びを楽しむ。 ・傘の扱い方、片付け方など、気を付けて行動する。 ＊前がよく見えるようにまっすぐ持つ 周りの人に当たらないように傘を開く ・水あそびの危険性を知る。 ・夏を健康に過ごすために必要なことを知る （炎天下で長時間遊ばない・帽子をかぶる・水分をしっかり取る） ・安全教室に参加し、海や川、プールの危険、行楽地、人の多いところでの危険性（迷子・連れ去り）を知る。 ・クッキング（包丁の使い方等の約束）			・合同避難練習に参加し、消防士さんの話を聞いたり消火器訓練を受け、火事の恐ろしさや、火遊びをしてはいけないことを知り、守る。 ・防災に興味を持つ。 ・様々な道具や用具の安全な扱い方を知り、守って使う。（はさみ、テープカッター等） ・安全・危険の判断をしながら自分たちで気を付けようとする。			・交通ルールや公共の乗り物、場所でのマナーを実際に保育教諭や友達と一緒に体験し、守る。 ・寒さから身体が思うように動かなくなるので、遊具で遊ぶ際には気をつける ・強い風や雪、凍結時などの冬の危険を知り、安全に気を付ける。 ・危険を感じ、判断して行動する （左右確認、右側通行、信号の見方など）		
保護者啓発	ほけんだより 懇談等保護者との連携	園だより、ほけんだよりを作成し、保護者への子どもの安全についての啓蒙を行い、家庭でも保護者の行動や教育により子どもが安全な生活習慣を身につけられるようにする。											
		・園生活を安全に過ごすためのきまり、約束を連絡 登降園の方法、園児引き渡しのきまり 災害時の対応、個人情報保護について インターネット上の有害情報からの保護等			・夏期期間中の保育について　・救急の日、防災について ・降園後の生活について　・誤飲事故防止 ・台風発生時の対応　・生活リズムの見直し ・各種警報、特別警報発令時の対応について確認			・乳幼児突然死症候群(SIDS)防止対策強化月間 ・児童虐待防止推進月間 ・年末年始の過ごし方 ・降雪時の登降園時の注意について ・冬の健康で安全な生活について			・各年齢進級に向けて 生活習慣、きまり等の確認 ・５歳児小学校入学に向けて 通学路、危険箇所の確認 雨の日の歩行について		

	教材	フレーベル 安全紙芝居【安全 安心 園生活】 ① 登園編「おひさまえんへしゅっぱーつ」 ② 園内編「せんせいといっしょいつもいっしょ」 ③ 園外編「こうえんまででかけたよ」 【防犯編】 ① 「おはなしきいてまもろうね」 ② 「こわいところって、どんなところ？」 ③ 「まいごになっちゃった」 【安全】 ① 誤嚥「もぐもぐじょうず」 ② 閉じ込め事故「もしとじこめられたら」 ③ のどつき事故「おしりぺったんであんぜんに」	金の星社【やさしくわかる びょうきのほん】 「どうしてしょくちゅうどくになるの？」（６月～） 「どうしてねっちゅうしょうになるの？」（７月～） 「どうしてかぜをひくの？インフルエンザになるの？」 童心社【もしもにそなえる防災紙芝居】（全６巻） 「もしももしものもしもんがきた」≪地震≫ 「れんしゅうしててよかったね」≪地震≫ 「にげてにげてつなみがくるよ」≪地震≫ 「にんじゃせんせい いざまる」体を動かす練習 「だいじだいじ」頭を守る 「〝おかしも〟はかじのおやくそく」≪火災避難≫	教育画劇【おぼえてね！あぶないときのおやくそく】 ≪地震≫「じしんがきたときどうするの？」 ≪火事≫「かじおばけ モクモク」 ≪台風≫「たいふうがきた」 ≪地震≫「できるかな？じしんのひなんくんれん」 ≪火事≫「できるかな？かじのひなんくんれん」 ≪ 雷 ≫「かみなりぼうやともりのなかま」 ≪大水≫「ありんこチッポながされる」 ≪ 蜂 ≫「いたずらだいこんとぶんぶんばち」 【防災】 ≪火事≫「かじだ！にげろ！」 ≪地震≫「にんぽうだんごむしのぽーず」 ≪火事≫「〝おかしも〟はかじのおやくそく」 ≪停電≫「ていでんになったら・・・？」	金の星社 【やさしくわかるぼうさい ぼうはんのえほん】 ≪地震≫ 「じしんつなみどうするの？」 ≪火事≫ 「かじどうするの？」 ≪台風≫ 「たいふうどうするの？」 ≪誘拐≫ 「ゆうかいまいごどうするの？」 ≪交通安全≫ 「こうつうあんぜんどうするの？」